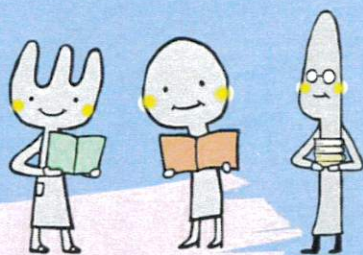


2025 WINTER



おすすめの絵本



燕市の図書館から赤ちゃんとおうちのかたへ
おすすめの絵本をご案内いたします



本の検索や予約
図書館ホームページ



イベント情報
X (旧Twitter)



電子書籍
電子図書館



赤ちゃんにおすすめ絵本
燕市ホームページ

お問合せ 燕図書館 0256-62-2726 吉田図書館 0256-92-7650 分水図書館 0256-91-3255

0さい～2さい向け



『きらきら』

新井 洋行/作、絵 山口 真美/監修
くもん出版

きらきら輝く星を、赤ちゃんが大好きなキラキラの金色で描いた絵本。光沢感のある仕様が、赤ちゃんの視線を集めます。真っ黒の背景に浮かぶ、白色や金色の星の様子は、まるで冬の星空のようです。絵本を揺らしてキラキラ輝かせながら、星空散歩を楽しんでみてください。



『くまのテディちゃん』

グレッタ・ヤヌス/作 ロジャー・デュボアザン/絵
湯沢 朱実/訳 こぐま社

ちゃいろいくまのテディちゃんは、たくさんの素敵なものを持っています。黄色のズボン、青いす…。どれも小さなテディちゃんにぴったりサイズです。「自分のもの」って何だか嬉しいですね。テディちゃんの満足げな表情からも、そんな気持ちが伝わってきます。何度も読みたくなるかわいい絵本です。



『ゆきのひのうさこちゃん』

ディック・ブルーナ/ぶん、え
いしい ももこ/やく 福音館書店

窓の外には真っ白な雪。その光景にわくわくしていた子どものころを思い出します。さっそく支度をして外へ出たうさこちゃん。そりすべりやスケートなどの雪遊びを楽しんでいる途中、泣いている小鳥を見つけて…。雪遊びの楽しさに加えて、うさこちゃんの優しさが伝わるお話に、ほんと心があたたまります。

3さい～5さい向け

『サンタさんからきたてがみ』

たんの ゆきこ//さく 垂石 真子//え

福音館書店



クリスマス前の日、配達する手紙を濡らしてしまい、あて先がわからずに落ち込むねずみの郵便屋さん。森の仲間が集まりよく見てみると、それはサンタさんからの手紙…!? 宛先がわかるまでのドキドキ。手紙を開ける瞬間のわくわく。みんなが助け合うあたたかさ。クリスマスに読みたい、優しい物語です。

『おせち』

内田 有美//文、絵 満留 邦子//料理

三浦 康子//監修 福音館書店



お正月に家族みんなで囲むおせち料理。その一品一品にこめられた願いを知っていますか? 思わず手を伸ばしたくなるようなリアルで美しい絵とともに、心地よい言葉で紹介される、そこに込められた願いや祈り。ひとつひとつを知ることで、より大切なおせちを味わい、よい新年を迎えられそうです。

『にぎやかなおでん』

犬飼 由美恵//文 出口 かずみ//絵

教育画劇



鍋の中でだしに浸かりながら、おしゃべりをするおでんの具材たち。話はどんどん自分たちの故郷の自慢話になっていきます。お馴染みの具材たちが、実は畑出身だったり、海出身だったり。食べものの成り立ちまで、楽しく学べるのもおすすめポイントです。読んだ後はおでんが食べたくなっちゃうかも。

おうちのかた向け



『星どろぼう』

アンドレア・ディノト//ぶん アーノルド・ローベル//え
やぎた よしこ//やく ほるぷ出版

空から星を全部盗んでしまったどろぼうの物語。決して褒められた行為ではないですが、星に憧れる純粋などろぼうの姿に、心惹かれてしまいます。星を空へ戻すため、村人と協力し合う様子も印象的です。星はひとつひとつ違う輝きで描かれ、まるで宝石のよう。夢あふれる世界観を楽しんでいただきたいです。



『雪わたり』

宮沢 賢治//原作 方緒 良//絵
ミキハウス

ある夜、狐の紺三郎と出会い、狐小学校の「幻燈会」に招待された四郎とかん子。幻燈会に参加できるのは、子どもだけです。深まり、広がっていく狐と子どもたちとの信頼や友情を、とても尊く感じます。まるで幻灯を見ているかのような白と黒で描かれた美しい絵が、雪の世界へいざなってくれる幻想的な絵本。



『サンタへの手紙』

-1870年から1920年までに子どもたちが書いた
クリスマスの手紙と欲しい物リスト-

メアリー・ハレル=セスニアック//選
カヒミ・カリィ//手紙訳 徳間書店

サンタクロースに手紙を書く。それは子どものころ、とても特別なことでした。この本には、世界中の子どもたちがサンタにしたための手紙が掲載されています。願い、疑問、家族やまわりの人たちへの思いを綴ったものまで、愛おしい手紙の数々は、私たち大人の心を少しだけあの頃へ連れて行ってくれます。

※絶版のため図書館の本をご利用ください